



2 学期 2 号 (248 号) 2023 年 1 月


放送大学 広島学習センター
福山サテライトスペース

塞翁が馬 – 新たなチャレンジ

放送大学広島学習センター客員教授 西谷 元

私は、2022 年 3 月に広島大学を退職しましたが、現在は、放送大学の客員教授を務めるとともに、広島大学、創価大学、また他のいくつかの大学、機関でも客員教授、研究員などを務めさせてもらっています。

退職するまでは、常勤の仕事がなくなるわけですから、きっと時間がたくさんあるとともに、喪失感もあるのではないかと想像していました。庭仕事をしようと思い、いくつかの道具も買ったりもしました。

ところが、幸いというか、驚きというか、いろいろな仕事、プロジェクトのオファーをいただくとともに、申請していた研究が採択されるなど、これまで以上に忙しく毎日を過ごしています。

これらの仕事には、私の専門の国際法にかかわる出版、講演なども当然あるのですが、全く異なる分野のものもあります。むしろ、後者の、国際教育、評価などに関係するもののほうが多いくらいです。

このようなことになるとは、予想していなかったのですが、次から次へと他の大学／機関からお話をいただき、このコロナ禍のなかですが、日本各地に行く仕事も増えてきました。海外からもお話をいただいているので、それらの大学へも行かなければならないのですが、まだもう少し様子を見なければならないと思っています。オンラインでの講演、ワークショップなども、皆様も御存知のとおり、非常に有効なツールですが、対面での会合にも捨てがたい利点があります。

新たなチャレンジとして、現在行っている仕事の大部分は、「何かを行う＝アウトプット」の結果として、どのような「変化・変容＝アウトカム」が生じるのかに関わるものです。前述のワークショップ実施にもつながることですが、私たちは日々の忙しさにかまけ、しばしば、目の前にある仕事を行う方法（オンラインか対面か）に目をうばわれ、その先にある結果を含む長期的な視点を失いがちです。

日々自戒しつつ、新たなことに常にチャレンジをしていくことの大切さを、身にしみて感じているところです。



目 次

客員教員寄稿.....1	スケジュール(1 月～4 月).....7
所長室便り.....2	卒業おめでとうございます.....8
事務室からのお知らせ.....3	学位記授与式客員教員祝辞.....9
視聴学習・図書室からのお知らせ.....4	卒業生代表挨拶.....10
行事の報告・お知らせ.....5	卒業生からのメッセージ.....11

新年おめでとうございます ―健康な一年を過ごしましょう―

放送大学広島学習センター所長 吉村 幸則

明けましておめでとうございます。本年も皆さまがご健康で、放送大学での充実した学生生活を送られることをお祈りいたします。国際情勢は依然として厳しいところですが、これが早く落ち着いて平和で穏やかになることも願っています。



この原稿を書いている11月時点では、政府は新型コロナウイルス感染症に対して、新たな行動制限は行なわず、マスクの着脱、手洗い等の衛生、換気、「3つの密」の回避など適切な感染予防対策をするように呼び掛けています。しかし、政府分科会は新型コロナウイルス感染症が再び増加しており、季節性インフルエンザとの同時流行が起こって、同時感染もあり得ると述べていますので、十分な感染対策を心がけましょう。まん延の程度が厳しい状況になると、広島県や放送大学等から何らかの対策の要請があるかもしれません。万が一そのような状況になればご協力をお願いします。

人間社会の課題と対策とは話が異なりますが、健康を守ることは動物にも大切です。鳥類が感染する高病原性鳥インフルエンザ、ウシやブタが感染する口蹄疫などの伝染病は、家畜伝染病予防法で発生を予防されている動物の伝染病の例です。我が国ではこれまで、家きん肉や家きん卵を食べて、鳥インフルエンザウイルスに感染した例は報告されていません（註1）。一方、鳥インフルエンザは、高病原性の場合には鶏群に甚大な被害をもたらします。わが国では2004年に79年ぶりに発生し、以後も発生が続き、2022年は例年より早く秋から発生が報告されています。わが国では高病原性鳥インフルエンザは清浄化を目指している感染症の1つです。この清浄化のために、基本的にはワクチンを使用せず、感染鶏の摘発と淘汰で迅速に発生と拡大を阻止しています。ワクチンを使い続けると、逃れたウイルスが常在化するかもしれないので、これを避けるのが理由の1つです（註2）。もちろん養鶏場関係者、飼育施設や資材などの衛生管理は徹底されています。発生した場合には大変な作業を県や関係の方が行ってくださっています。ほかにもニワトリの感染症は沢山ありますが、これらに対しては、予防接種が行われています。こういった具合に、ニワトリは、安全で安定的な生産活動をするように、懸命な衛生管理のもとで健康を守られています。そのおかげで、私たちは安全安心な鶏肉鶏卵をいただくことができます。

さらに大きくとらえると、地球に住む生き物は相互に影響しあっているので、すべての生き物が健康で多様性豊かな生物圏を維持できるように望みたいところです。

皆さまには今年も健康な一年となりますようにお祈りいたします。

（註1）農林水産省：鳥インフルエンザについて知りたい方へ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/know.html>

（註2）農研機構：鳥インフルエンザのワクチンによる防疫と清浄化

https://www.naro.go.jp/laboratory/niah/tori_influenza/explanation/018079.html

●○次学期の履修手続きについて○●

□□学生生活の栞(大学院 P56～、P90/教養学部 P58～、P94～)参照

① 次学期も学籍のある方

次学期に履修する科目の科目登録申請を期間内に行ってください。

方法	申請期間	申請方法
インターネット	2月13日(月) 9:00～ 2月28日(火)24:00	システム WAKABA の「教務情報→科目登録申請」から手続きを行ってください。
郵送	2月13日(月)～ 2月27日(月)本部必着	1月中旬に送付されます科目登録申請票に次学期に履修したい科目を記入の上、大学本部へ郵送してください。

② 今学期で学籍の切れる方

引き続き放送大学で学習されたい方は、継続入学手続きを期間内に行ってください。

方法	出願期限	出願方法
インターネット	【第1回募集】 2月28日(火)24:00 【第2回募集】 3月14日(火)17:00	システム WAKABA の「教務情報→継続入学申請」、もしくは放送大学ホームページのインターネット出願から手続きをしてください。 教養学部への継続入学生で面接授業も登録したい方は科目登録申請期間中(2月13日(月)～2月28日(火))にシステム WAKABA(「教務情報→継続入学申請」)から出願を行う必要があります。
郵送	【第1回募集】 2月28日(火)本部必着 【第2回募集】 3月14日(火)本部必着	1月中旬に送付されます継続入学関係書類を確認し、出願票に必要事項を記入の上、大学本部へ郵送してください。 (卒業見込みの方は大学本部より送付されます案内状を確認し、書類を取り寄せてください。) ※集団入学、共済組合を利用しての入学、自主退学者には送付されません。

③ 今学期末に卒業見込みの方期末に卒業見込みの方

成績判定後に次学期に向けて手続きを行ってください。

必要な手続き	手続きに該当する方
科目登録申請(①参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期も学籍がある場合。
継続入学(②参照)	今学期末で卒業できなかった方で、 次学期に学籍がない場合。
	今学期末で卒業される方で、 引き続き放送大学で学習を続けたい場合。

④ しばらく科目登録していない方

全科履修生は連続して4学期(2年)間、科目登録申請及び授業料納入を行わないと除籍になります。連続して3学期科目登録手続き、授業料納入を行っていない方は、この機会に科目登録申請を行い、学習を再開しましょう。

※面接授業を登録申請の留意点※

2023年度第1学期の面接授業について、新型コロナウイルス感染症等の不測の事態への対応として、定員削減や閉講(中止)、Web(Zoom等)授業への変更や受講制限等の措置をとる可能性があり、状況により授業料の返金対応となる場合があります。それらの情報は、全国の学習センター等からのお知らせや本学ウェブサイト、システム WAKABA にてお知らせいたしますので、定期的にご確認ください。以上をご理解いただき、特に卒業見込みの方、資格取得を主眼とした単位修得を目的とする方におかれましては、放送授業やオンライン授業を積極的に受講してください。

事務室からのお知らせ

●○次学期の学生証の交付について○●

□学生生活の栞(大学院 P24~/教養学部 P18~/)参照

3 月末で学生証の有効期限が切れる全科履修生の方、次学期に継続入学される方の学生証は、**4 月 2 日(日)から交付**できます。有効期限が切れている方は旧学生証を、継続入学される方は旧学生証と「入学許可書」を事務室窓口まで持参してください。なお、学生証交付にあたっては、必ず学生本人が手続きを行ってください。

顔写真を新しくされたい方は、更新の 1 か月前に学生生活の栞巻末にある「写真票」を放送大学本部学生課まで郵送いただくか、システム WAKABA「教務情報→学生カルテ」から変更してください。システム WAKABA は有効期限日の 2 か月前より変更可能です。



有効期限を確認

●○窓口受付時間が変わりました○●

証明書等の申請の窓口受付時間を下表のとおり変更しました。窓口は今までどおり 18:00 まで開いております。

窓口受付時間	申請内容
17:00 まで	各種証明書、学生証再発行、文献複写、他大学図書の受け渡し等
17:30 まで	学生教育研究災害傷害保険加入の申請、面接授業追加登録申請

視聴学習・図書室からのお知らせ

●○広島学習センター配架雑誌バックナンバー配布について○●

2021 年度(10 月～3 月)に広島学習センター視聴学習・図書室に配架していた雑誌のバックナンバーを、下記期間中に無料配布いたします。引き取りを希望の方は、先着順でご自由にお持ち帰りください。なお、雑誌の予約申込や配送(着払いも含む)は受け付けておりません。

◆配布期間：2 月 14 日(火)～2 月 28 日(火)

◆場 所：広島学習センター視聴学習・図書室(3 階)

◇配布雑誌◇

英語教育／栄養と料理／こころの科学／ニュートン／月間福祉／文藝春秋／法学セミナー／臨床心理学／interface／National Geographic

◇その他◇

広島学習センター前所長 書籍

●○視聴学習・図書室の学期末臨時閉館について○●

次学期準備のため、下記の期間、広島学習センターの視聴学習・図書室を閉室します。

臨時閉室期間：**3 月 24 日(金)～3 月 31 日(金)**

※閉室期間中の本部図書の貸出は事務室にて行います。

公開シンポジウムが開催されました

10月29日(土) 広島学習センターにて、「今あらためて『平和』を考える」をテーマに、広島大学平和センター センター長・教授 川野徳幸先生、広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 片柳真理先生に講演していただきました。



文化祭・作品展示会

学生の皆様による作品展示です。

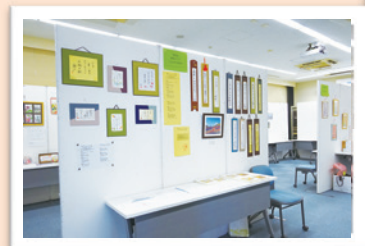
サークルや同窓会などの学生団体による展示や写真や画をパネルにまとめていただき展示しました。



俳句クラブ



第九を歌う会



蛍窓短歌会

自主ゼミ・読書会

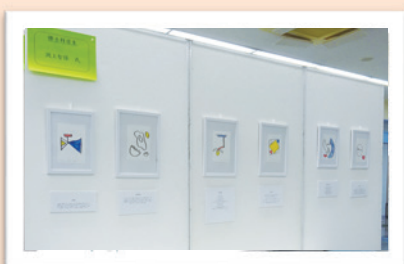




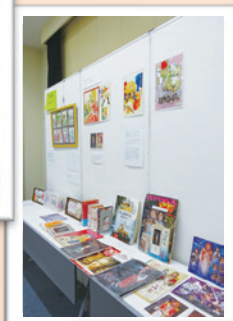
I (アイ)クラブ



広島同窓会



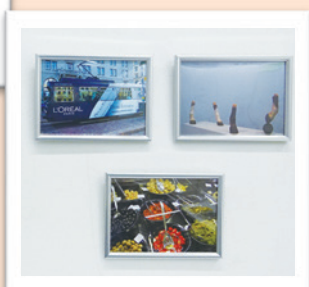
学生個人出展



客員教員

三根 和浪先生の展示

写真：フィンランド（ヘルシンキ）の風景



広島学習センター

吉村 幸則所長の展示

「ミクロの世界へ」

- ・身体の中の消化器の構造を顕微鏡観察
- ・いちじく・ミニパプリカ等の断面を観察



放送大学広島同窓会主催、広島学習センター共催
**広島学習センター吉村所長を
囲んでの座談会**
(在学生・同窓会会員・卒業生対象)

広島学習センター所長を交えて、学生・卒業生
同士で「お話」しましょう。

入学してよかったこと、学習の悩みや疑問、ほかの
学生はどんなふうに学習してるの？等々、交流の輪
を広げ、拡大ライフをもっと楽しみましょう。

- 日 時：2月5日(日) 14:00~16:00
- 場 所：広島学習センター会議室(4階)予定
- 申込先：広島学習センター事務局へ電話、又は
0321366664@campus.ouj.ac.jp(同窓会)へメール
- 申込締切：2月1日(水)

**2022 年度履修者
卒業研究成果発表会**

2022 年度に卒業研究を履修した学生が、研
究の成果を発表します。卒業研究の履修を考えて
いる方や卒業研究に興味のある方は是非参加し
てください。

- 日 時：2月12日(日) 14:00~15:30
- 場 所：広島学習センター大講義室(3階)
- 申込先：広島学習センター事務局

スケジュール (1月~4月)

1月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

17日(火)~25日(水)単位認定試験(Web受験方式)



2月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

5日(日) 所長を囲んでの座談会
12日(日) 卒業研究成果発表会
13日(月)~27日(月) 科目登録申請(郵送)
13日(月)~28日(火) 科目登録申請(Web)



3月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

14日(火) 2023年度第1学期学生募集出願締切
24日(金)~31日(金) 視聴学習・図書室閉室期間
26日(日) 学位記授与式・入学者の集い(広島・福山)



4月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

15日(土) 面接授業空席発表
20日(木)~ 面接授業追加登録開始



閉所日(月曜日、祝日、年末年始、所長が必要と認めた日) (※) 臨時閉所日



卒業おめでとうございます



祝ご卒業

この度はご卒業おめでとうございます。皆さまは、いろいろな目的をもって放送大学で学ばれ、ご卒業になられます。達成感に満ち溢れているのではないのでしょうか。授業を受ける際にご自分のスタイルに合うように、いろいろな工夫をされたと思います。この2年半の間は新型コロナウイルス感染症対応で不自由なことも多かったと思います。こうした努力の上でのご卒業に、広島学習センターの教職員一同心からお祝い申し上げます。

授業を担当されている先生から、皆さまは、とても意欲的に授業を受けられる、質問も沢山もらえるので嬉しいと、よく聞きました。皆さまの素晴らしい学ぶ意欲に敬服しています。

皆さまは専門的に学びたい科目、知識を広げたい科目など、幅広く履修されたと思います。現代社会では社会構造がとても速く変化し、新しいものが休む間もなく現れてきます。教養を広く学ぶことは、すぐには役立たないだろうと考えていても、社会の変化がわかる力につながると思います。学んだことは、単に物知りということではなく、これからも学び続けるきっかけに、そして、ものごとを柔軟に楽しく考えたり、場合によっては社会へ発信したりするきっかけになるように願っています。

放送大学中四国ブロック学習センター所長が共同で編集し、2017年に発行された「放送大学に学んで：未来を拓く学びの軌跡」という著書があります。その中で、「学ぶという営みは、過去とは違う新しい自分になる行為です。学ぶことを通して、他人の悲しみや痛みを理解し共感する新たな、教養のある自分になれるのです。」と述べられています。この言葉は、卒業後も学び続けるのに励みになるのではないのでしょうか。

ご卒業後も、放送大学で知り合った方とのつながりを大事にしながら、学ぶことを続けられると、きっと豊かな気持ちの生活になると思います。広島学習センター同窓会も素敵な人のつながりを持たせてくださるでしょう。

どうぞこれからも元気で学びの好奇心にあふれた毎日をお送りください。



放送大学広島学習センター
所長 吉村 幸則

【2022年度第1学期卒業生数】

学生所属	広島学習センター	福山サテライトスペース
生活と福祉コース	11	1
心理と教育コース	13	2
社会と産業コース	7	-
人間と文化コース	9	-
情報コース	4	-
自然と環境コース	3	-
合計	47	3

学位記授与式客員教員祝辞

広島学習センター客員教授 椿 康和

卒業生の皆さん、このたびは、ご卒業誠にありがとうございます。

初めての方も、何回目かの卒業式を迎える方も、それぞれに、卒業までの研鑽の日々を振り返って、大きな達成感を抱いておられることと存じます。

とりわけ、2020年の年初に始まり、今もなお猛威を振っている新型コロナウイルス感染症がもたらした様々な障害を乗り越えて、この晴れの日をお迎えになりましたことを、広島学習センターの教員の一人として、心よりお祝い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は私達の社会生活に様々な影響をもたらしています。

仕事の面では、感染症対策としての在宅勤務やモバイルワークなどのテレワークが奨励され、毎日オフィスに出勤して行っていたデスクワークや会議、さらに取引先に出向いての打ち合わせなども、自宅の食卓テーブルに置いたノートパソコンやスマートフォンから行う、という働き方を、新たに多くの人が経験することになりました。これを機に、企業の中には、転勤制度を廃止したり、在宅勤務の比重を増やして長時間通勤の負担を軽減したりするなど、従来の働き方を大きく見直す動きが現れています。

このような対応が可能になったのは、1990年代の情報革命を契機とする情報通信技術の急速な発展です。携帯電話もインターネットもパソコンも普及していない30年前を思い起こしてください。経験しておられない方は想像してみてください。

- 携帯電話の普及率は1%で、ポケットベルが鳴った営業マンは公衆電話から会社や取引先に連絡していました。
- インターネットの利用は大学を中心に始まったばかりで、その存在は一般にはほとんど知られていませんでした。自宅からは、低速の電話回線でパソコン通信に接続して、メールや電子掲示板を利用するのがやっとでした。
- パソコンの普及率は10%で、Windows以前のMS-DOSで動いていました。

もしも、こういった状況の下で今回のようなパンデミックが発生していたとすれば、テレワークによって感染症対策と仕事を両立させるのは、非常に困難だったように思われます。

教育に目を転じますと、今回のパンデミックを機に、小学校から大学までインターネットを使った遠隔授業が一気に広がりました。

大学で情報ネットワークを利用した遠隔授業が始まったのは、分散したキャンパスの間を結ぶ学内ネットワークが整備されてきた1990年代後半からです。今世紀初めには、Web教材やビデオ・オン・デマンド（VOD）教材と、双方向のコミュニケーション・ツールを用いた「バーチャル・ユニバーシティ構想」が提案されましたが、大きなトレンドにはなりません。ところが、新型コロナウイルス感染症によってこの状況は一変します。若者に充実したキャンパスライフを提供する「リアル・ユニバーシティ」として、対面型の授業のみを行ってきた大学では、一斉に非対面型の遠隔授業にシフトすることになりました。

とはいえ、遠隔授業において教育成果をしっかりと上げるには、Webコンテンツや印刷テキストなどの教材の工夫、学習者の多様な環境に応じた柔軟に対応しうる仕組みの構築、自学自習に対する手厚い支援など、様々なノウハウが必要になります。これらは、まさに放送大学が1985年の開学以来、長年にわたって培ってきたものであり、取り組みを始めたばかりの大学が容易に持ちうるものではありません。皆さんが、わが国における遠隔教育のトップリーダーである放送大学において、レベルの高い授業を学ばれて本日を迎えられることは、大いに誇れることです。

しかしながら、コロナ禍によって、学習センターの一時的な閉鎖、学位記授与式を始め研修旅行、納涼会などの行事の中止といった、キャンパスライフを彩る貴重な交流の機会が失われたことは残念でなりません。感染状況が落ち着いてきましたら、卒業生として、あるいは、2回目、3回目の入学生として、改めて楽しんでいただければと存じます。

さて、皆さんは、これまでの勉学を通じて、継続的な学習の習慣、論理的な思考力や文章表現力など、多くのことを身につけています。これらは変わることない基盤として、皆さんの今後の人生をしっかりと支えていくことでしょう。他方で、学んだ知識については日々陳腐化していきます。とりわけ、生涯学習に不可欠のツールである情報通信技術については、変化に取り残されないために、それらを使いこなす能力の継続的なアップデートが必要とされています。つきましては、今後とも意識してICTスキルの維持向上に取り組んでいただきますよう、改めてお願いいたします。

最後となりますが、これからの皆さんのご活躍とご健勝を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。



卒業生代表挨拶

広島学習センター卒業生代表 重光 君江（人間と文化コース）

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を行っていただき誠にありがとうございます。コロナ禍が続く中ではありますが、こうして直接卒業証書をいただけることを嬉しく感じております。今日、私は人間と文化コースを卒業し、グランドスラムの達成となりました。本日はそのような経緯で、ご挨拶の機会をいただきました。

私は、2003年4月に放送大学に入学いたしました。

きっかけは、「短期大学部時代の友人が放送大学を卒業し、大学院に入学した」という話を聞いたことです。ちょうどその頃、娘が大学に入学したこともあり、自分も大学卒業という学位をとりたと思うようになりました。

編入という形で放送大学に入学し、久しぶりに自分のための教科書や授業と向き合い、単位認定試験に向けて勉強し、試験によって評価されるということ、どれも私にとってはワクワクするものでした。2006年3月に初めての学位記をいただき、ここで学士号をとるという最初の目標を達成しましたが、学ぶことがただ楽しくて、その後も興味のある科目を色々受講し続けました。

そんな時放送大学の学科再編があり、ひと区切りとして旧カリキュラムで卒業することにしました。せっかくなので、とNHKホールでの学位記授与式に参加し、その際に「グランドスラム」を知り、これが次の目標になりました。70歳までに達成したいと考え、そこからはそれぞれのコースの授業に重点を置いて受講するようにしました。途中、課題を出し忘れて試験が受けられないといううっかりミスもありましたが、なんとか各コースを2年から3年で卒業することができました。

来年1月で70歳。ギリギリではありますが、目標のグランドスラムを本日達成することができました。今日いただける卒業証書を合わせると7枚。単位数は、全部で260単位取得しておりました。

グランドスラムのためには、自分の興味だけでは選択しないような内容の授業や、普段の生活では考えることの無いような科目も選択する必要がありました。最初はとっつきにくいように感じて、むしろこういった科目のほうが新しい発見があり、“学ぶ楽しさ、知る楽しさ”を実感することができました。

仕事を辞めたあと、各地の面接授業を受けようと楽しみにしていましたが、ちょうどコロナが流行しそれは、かないませんでした。でも、また機会があれば、挑戦したいと思っています。

卒業生、入学生の皆様にも、私にも、放送大学の中で知った“学ぶ楽しみ”がこれからも続けられる日々でありますよう願っています。

最後になりましたが、支えてくださった広島学習センターの教職員の皆様に心から感謝申し上げます。そして、自宅で学べる環境と、豊富な教材を与えてくださった放送大学のますますの発展を祈り、お礼の言葉とさせていただきます。

本当にありがとうございました。



福山サテライトスペース卒業生代表 大島 敏伸（生活と福祉コース）

本日は、私たち卒業生のために学位記授与式を催して頂き誠に有難うございます。また、吉村所長から心温まるお言葉を頂き重ねてお礼を申し上げます。修学中ご指導頂きました多くの先生方や在学中に温かくサポート頂きました福山サテライトスペースの皆様改めて感謝を申し上げます。

余暇時間の活用と認知症予防の一助として楽しく学びたくて68歳から放送大学に入学し、「社会と産業」コースを受講、2年前に卒業できましたので、続いて「生活と福祉」コースに再入学し今回卒業できました。放送大学は、自分の興味を持った科目を選択受講できるので比較的楽しく受講できます。

特に面接授業は、興味のあるテーマを選択して受講できる上に、各講師が長年研究された研究成果を分かり易く説明して頂ける上に、苦労話もリアルに紹介して頂けるので実に楽しく受講できます。受講後には夢や希望が湧いてきて不思議な元気を頂けることが多かったです。さらに、妻と各地の観光旅行も兼ねるため実に楽しく学べます。最近、コロナ禍で各地での面接授業を受講できないのがとても残念でした。受講中には想定外のトラブルも発生するもので、昨年の5月と6月だけの予定で千葉県に工事出張しましたが、6月下旬に突然7月末まで工事が延長となり、急遽試験用の資料をホテルに送付して貰い受験するという体験をしました。休日でも少なく大半の科目を断念し、2科目だけの合格でしたが、その後再試験制度に救われ計画通りに卒業ができたのはとても幸運でした。

どの科目を学習するにも基礎学力がたりず苦労しますが、最近は著しい記憶力低下が加わりさらに厳しい状況です。継続して「自然と環境」コースに再入学する予定ですので、引き続きサポートをお願いして挨拶とさせていただきます。有り難うございました。



卒業生からのメッセージ

2022 年度第 1 学期卒業生の皆様より、卒業にあたっての思いや、これから学ぼうとする学生の皆さまへ向けてのメッセージをいただきました。

●生活と福祉コース卒業 あつこ

私は看護学士と臨床心理士の資格取得を目指して入学しました。隙間時間を使って自分のペースで学習できる通信制は自分には合っていたと思います。中でも心理学実験は面接授業ならではの学びもあり、学習意欲に刺激を受けました。働きながら（育児もしながら）勉強することは決して楽ではありませんでしたが、知識は自信につながるということを改めて実感しています。ここからがスタートで、「生涯勉強」をモットーに更なるステップアップを目指そうと思います。これから学ばれる皆様も、自己実現に向けて、ぜひ最後まで諦めることなく頑張ってください。

●心理と教育コース卒業 谷口 克之

退職後に始めた精神保健福祉ボランティアの活動で、専門用語等に戸惑っている時に、放送大学で高齢者も学べる事を知った。

5 年程続けると、福祉活動と学びの内容が腑に落ちる事も多く、当事者や作業所の方々にも喜んでもらえ、個人事業とボランティア活動と学業と、充実以上の生活を送った。

その頃に心理学の授業に興味に移り、コース変更までして更に 6 年、心理学教授の指導もあって自分史の上梓も成り、その仲間と何よりの思い出が出来た。

自分のペースで学べる放送大学は有難く、継続入学を申請したところである。

●心理と教育コース卒業 穴戸 加奈子

「大卒になりたい」という単純な思いで、放送大学へ入学しました。仕事との両立のため計画を立てるものの、計画倒れをすることも多く、単位認定試験前に慌てるが多々ありました。途中 COVID-19 の流行で、単位認定試験や面接授業で制約を受けることもありましたが、仕事が多忙な時は、心が折れそうになりましたが、単位が取れた時の達成感がモチベーションアップにつながり、何とか卒業することができました。放送大学で一番強く感じたことは、学び続けることの大切さと大変さです。学んだ先に見えるのはそれぞれ違うと思います。歩みを止めずに頑張ってください。

●社会と産業コース卒業 尾崎 誠

2010 年 4 月の入学ですから、もう 12 年半も在籍したことになります。途中、仕事繁忙を理由に休学するなど、もがきながら何とかぎりぎり在学可能学期数“1”を残して、この日を迎えることができました。学位への憧れや、学びへの興味から入学を決意しましたが、さすがに大学の 124 単位取得は簡単ではなかったです。しかし、広島はもちろんですが、高知や山口など他県の学習センターの面接授業に参加したとき、「全国には大勢の方が学ばれているのだな」と刺激をいただきました。卒業を目指しておられる在学生の皆さん、家庭や仕事、自身の健康など、いろいろな事情があるかとは思いますが、困ったときは事務室に相談するなどして、卒業をあきらめずに頑張ってください。

●社会と産業コース卒業 新田 耕司

医師を始めとする医療スタッフが常に知識と技術の研鑽を継続している事実には驚愕し、放送大学に入学したのが 2010 年。卒業まで 12 年を要した。

仕事の都合等もあり、面接授業や試験が受けられなかったことは一度や二度ではなく、退学を考えた時期もあった。それでも継続できたのは、先生や学生との交流はとても刺激的だったし、またいつも応援してくれる仲間や家族が励みでありとても心強かった。

バランス・タイミング、焦らないことを座右の銘とした。これからものんびり続けてい（活・逝）きたい。

●社会と産業コース卒業 加賀 孝道

私にとって、大学は体系的な知識を短期間に習得できる有益な場所です。特に放送大学は、実社会との関係性を重視した講義が多く、職業生活に一区切りをつけ、地域のお世話をさせていただいている私にとって、地域社会をテーマとした数多くの知識を吸収することができました。特に地域経済学、社会学、福祉問題そして貧困問題に関する講義は、私に大きな示唆を与えてくれました。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。

最後に、大変お世話になりました学習センターの皆さまに心より感謝申し上げます。

●人間と文化コース卒業 藤井 信夫

2020年度第2学期に再入学し、私にとって関心が高かった島内裕子先生の「日本文学」について2科目履修して、未知の世界を学ぶ喜びがありました。また放送大学では多コースにわたって幅広く体系的に学べる環境を活かし、かつひとつの目標として有効な「エキスパート認証」を4プラン併せて取得することができました。10月から3コース目の「心理と教育」を学びます。今まで共に学んだ方やお世話になった方に感謝いたします。これからもよろしくお願いします。ありがとうございます。

●自然と環境コース卒業 山口 順

私が「放送大学」の門を叩いたきっかけは、嘗て習得した知識は時代の変化とともに更新する必要があると感じたからです。数多くの講座が用意されていますが、自分の不勉強のために3コースを卒業するのに長時間を要してしまいました。

放送授業以外にも「面接授業」に豊富な講座が用意されていて、私は芸術関係の講座にも興味がありました。次は、「心理と教育コース」に挑戦します。

●情報コース卒業 安永 美子

定年後学問への熱い思いで入学して20年。加齢と共に学習の環境は厳しく幾度も挫折を経験する中で届く印刷教材は新鮮で何時も知の世界に導き励ましてくれました。お陰様でこの度5回目の卒業認定を頂き感無量です。

凄まじい社会変様の中、高齢期の私にとって放送大学での学習がいつか生きる力と支えに為っていました。

先般、サイバー攻撃が社会問題視されている中、情報セキュリティで学んだ暗号の公開鍵方式がNHK第1で放送されており、教科書を取り出し、図らずも復習、そして、今回単位認定を受けた「教育のためのICT活用」では放送大学の現状と未来像を熱く語られる岩永学長の予期せぬゲスト出演がありました。以前「教育社会学（'07）」受講の折の岩永先生に遭遇した様でとても懐かしかったです。孤独で学ぶ学習の中、放送大学との縁を感じる嬉しい出来事でした。これからも可能な限り継続学習を願っています。

このたびの卒業に際してお世話になった皆様方に心から感謝申し上げます。

広島学習センター



福山サテライトスペース



広島学習センター

福山サテライトスペース

MAIL / 学習センターウェブサイト

〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89
TEL▶082-247-4030 FAX▶082-247-4461

〒720-0812 福山市霞町 1-10-1 (まなびの館ローズコム 3 階)
TEL▶084-991-2011 FAX▶084-991-2012

hiroshima-sc@ouj.ac.jp / <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hiroshima/>